会長・幹事任期を終えて

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　第４６代　　会長　田中和俊

　会長をするなんて思ってもいませんでした。それは入会間もない時期だけでなく、ほんの数年前までもそうでした。まず順番が回ってくるのはまだまだ先だと思っていました。会長をされていない先輩方もたくさんいらっしゃるし、そのうち隙あらばクラブをやめてしまおうと思っていました。ロータリー活動に家族もあまり協力的ではないし、家庭の平和のためにもそうしようかと思っていたんです。世界平和は世界中のロータリアンが守ってくれても、私の家の平和は私にしか守れません。ところが青崎会長年度のあたりからなんとなくそういう話が来たり、坂元さんが会長になられた頃から、数年先まで会長を決めようとなりました。最初は息子たちの受験や進学のこともあり、私に会長は難しいと話していましたが、長男も鹿児島大学に入りまして、会長を断る理由もなくなりました。その場で加島さん、橋元さん、私までは決まりました。できればそのあとまで決めて欲しかったのですが、まあ３年後だと思い覚悟を決めました。ところがコロナという人類最大の危機が訪れました。坂元年度の途中から例会も開けなくなったり、事業も縮小せざるを得ませんでした。退会や休会する方もいらして、世の中が経済的にも厳しい状況になりました。私の仕事もやはり多少なりとも影響を受け、このままロータリーにいていいのかということまで考えておりました。幸い仕事もすぐに持ち直し、事務所も金生町に移転するなどして、ロータリー活動も逆にしやすくなりました。

　そうこうしているうちにあっという間に自分の年度の体制を考えないといけない時期が来ました。その前から幹事をお願いしていた松元まやさんには、なんと二つ返事で快諾いただきました。これは実は意外でした。もちろんそれまでも松元さんとは仲良くさせていただいてはおりましたが、やはり何といってもクラブ幹事です。大変なのは目に見えているので、長期的に説得しないといけないかなとか、断られたら誰にお願いしようかというパターンも想定していたのですが、意外とあっさり決まってとても嬉しかったです。そのときに松元さんには苦労はかけまいと決心しました。娘さんも大事な時期ですし、仕事も忙しくなっているようでしたので、とにかく彼女に迷惑をかけないように幹事として楽しい１年間を過ごして欲しいと思ってやってきました。松元さんには、１年間とても素晴らしい幹事としてのお仕事をしていただいたと思っております。特に忘年家族会の会長幹事の出し物は、私たち史上最高の出来でした。ありがとうございました。自分勝手な会長で、それはそれで迷惑をかけたと思いますが、お許しをいただけたらと思います。副会長の高岡さんも二つ返事で快諾してくださいました。これもとても嬉しかったです。次年度は恩返しをしたいと思います。高岡会長、栫幹事の若いお二人に、なんとかマイナスなものを引きずらず無事に引き継げることができて安堵しております。理事役員、委員長さん方にも就任に関してご快諾をいただき、支えていただきました。職業奉仕委員会には職業奉仕フォーラムや職業奉仕賞授与式を実施していただきました。社会奉仕委員会には鹿児島乳児院クリスマスプレゼントや社会奉仕フォーラムを実施していただきました。青少年委員会にはローターアクト再開に向け、鹿児島大学アカデミーロータリークラブとの折衝をしていただきました。交流委員会と国際奉仕委員会にはコロナで思うような活動ができずにご迷惑をおかけしましたが、次年度も頑張っていただけるようなので引き続きよろしくお願い致します。プログラム委員会には多彩なゲスト卓話者、会員増強委員会との連携で、入会候補者にもお声掛けをいただきました。おかげで５名の退会者はおられましたが、４名の方に入会いただきました。親睦委員会には、毎例会の運営とスマイル報告、納涼家族会、忘年家族会と少ない人員の中で、楽しくそしてしっかりと運営していただきました。出席委員会の委員長には出席率８０％を目標に気合を入れて活動していただきましたが、委員長が２月にお亡くなりになられるということがあり、副委員長がその役目を引き継いでくださいました。広報雑誌ＩＴ委員会には、大変ためになる「友の見どころ」をご紹介いただきました。あまり時間が取れずに申し訳ありませんでした。財団委員会には財団フォーラムの開催、寄付金の実施とご協力いただきました。米山奨学委員会は寄付金のご協力、そして委員長におかれましては米山奨学生グエン・ティ・トウさんのカウンセラーもお引き受けいただきました。２年間よろしくお願い致します。そしてＳＡＡ、副幹事のお二人には例会の運営で大変お世話になりました。私の例会での時間調整が悪くて、会員の皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。川路さんには、会計だけでなく、年次計画書や週報に関しても大変お世話になりました。特にセンスの良い年次計画書を見たときには会長としてとても嬉しく思いました。そして橋元直前会長には、ロータリー情報委員長の学習会だけでなく、いろいろとサポートしていただきとても感謝しております。ロータリーでの私の兄貴分です。また事務局の安部さんにも、これまた言葉では言い尽くせないくらい感謝しております。様々なお気遣い、適切なアドバイスと彼女なくしては今年度はありえませんでした。海江田パストガバナーにもことあるごとにお声掛けをいただき、アドバイスをいただきました。海江田さんのお言葉ひとつひとつが身に沁みます。ロータリーとは何なのか私も勉強の途中ですが、この１年で少しはわかってきたのかなと思います。ありがとうございます。

　クラブテーマは「ロータリーを楽しもう」でした。ロータリーへのアプローチの仕方は会員お一人お一人違います。何十年も在籍されている方もいれば、転勤で２、３年で退会される方もいます。私は１４年ほど鹿児島中央ロータリークラブにお世話になっておりますが、それぞれその人なりのロータリーの楽しみ方があると思っております。会員の皆さま、この１年ロータリーを楽しむことができたでしょうか。私は皆さまがロータリーを楽しめるように努力してきたつもりでしたが、お役に立てましたでしょうか。自分自身は、ロータリークラブ会長というものを心の底から楽しみました。毎週月曜日が待ち遠しいなんて入会以来初めての経験でした。

　林良昭会員、岩下克己会員を亡くしたことは、本当に残念でございました。林会員はロータリー歴３９年、第２５代会長を務めていただきました。私の高校の先輩にあたり、かわいがっていただきました。岩下会員はロータリー歴３年ほどでしたが、ロータリー活動を楽しんでいらっしゃいました。出席委員長をお願いしたところ、常に出席率８０％を目指すんだとおっしゃっていました。お二人のご冥福を心からお祈りいたします。

　会員の皆さまのご支援、そして笑顔があって、なんとか私のような未熟なものでも、この伝統ある鹿児島中央ロータリークラブの会長の務めを終えることができました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。